

授業科目 ヨーロッパ文化研究特論	単位 2単位
授業担当者 宇田川 妙子	授業期間 後期
授業の題目と概要 「南ヨーロッパのジェンダー・セクシュアリティ」 南ヨーロッパにおいて、性（ジェンダー／セクシュアリティ／セックス）とは、宗教、社会、政治、あらゆる側面において極めて重要な要素になっている。本授業では、その実態を、民族誌的文献や歴史的文献をとおして詳細に分析・考察するとともに、性が彼らの文化全体の中で意味するところの一端を解明していくことを目的とする。	
授業の内容と計画 <ul style="list-style-type: none"> <li>・最初に、性（ジェンダー／セクシュアリティ／セックス）にかんする一般的な講義を経た後で、南ヨーロッパの古典的かつ基本的な文献である『シエラの人々』を批判的に購読する。</li> <li>・その論点と問題点を明らかにした上で、近年の民族誌を参照しながら、性の問題を掘り下げ、論点をさらに明確化していく。</li> <li>・その際、近代的な性概念の形成・流通という問題に関して、歴史学的な文献も参照していく。</li> <li>・最後に、以上のような民族誌の再読から、性という問題および、その位置についても再検討していく。</li> </ul>	
使用する参考書、参考論文等 ピット＝リヴァーズ著『シエラの人々』（弘文堂）の他は、受講者と相談して適宜決める。	
成績評価基準 出席および講義中の応答、レポートを総合的に判断する。	
その他の留意事項	